

H22.8.10  
語人声天

かりか同世代の健康が気になり始めた。個人差はあるが、この年になると不調や心配の二つは抱えているものだ。有名無名に関係なく、病は無遠慮に

押しかける▼サザンオールスターズの桑田佳祐さん(54)が食道がんを手術した。

幸い早めの発見で、術後も良好と聞く。

一人の体でないのが大物のつらさ。新作

アルバム発売は延期され、全国ツアーは中止となった。ここは気長に、根治と

再起を待ちたい▼ロックンロールにバラード、おちゃらけた歌まで、何を聴いてもつくづく天才だと思う。自在の楽曲と

達者なステージに、どれだけ励まされたことだろう。サザン世代がかかわる雑誌

やレコード店が、激励の企画を競うのもわかる▼デビューから32年という。桑田

さんは2年前、アエラ誌上で「気づくと『人生、残り何試合かなあ』って考える

ような癖はつきましたしね」と語っていた。まだまだ。いつまでも自身の詞の

通り、〈悪さしながら男なら／粹で優しい馬鹿でいる〉の心意気をお願いしたい

▼桑田さんの件で、内視鏡検査を思いつた人もいよう。それで命拾いするケー

スもあるはずだ。そして完全復帰への歩

みが、さらに多くを勇気づける。著名人の闘病は、ご本人や周囲の苦業にとどま

らない▼己の持ち物ながら、意のままにならな

い内臓たちである。検査の数値で

ご機嫌をうかがい、たまに上から下から様子

をのぞくしかない。知られた人の闘いに元気をもらい、せいぜい自分をいた

わりたい。一試合でも多くやるために。